

糸島市官民連携いとしまスタイル提案募集シート

令和7年8月掲載

課題名	公的不動産の活用～糸島サイエンス・ヴィレッジを例として～		
課等名	学研都市づくり課	担当者名	姫野 康隆
現状	●九州大学西側隣接地に糸島サイエンス・ヴィレッジ（SVI）を構築するため、一般社団法人SVI推進協議会及びイトシマ株式会社とともに各種実証事業等を推進 ●エリア内に市が所有する旧清掃センター跡地があり、SVI推進協議会に無償貸与している		
解決したい 具体的な課題	●九州大学の学生や研究者、企業関係者、市民や市内事業者間の交流が進んでいない（進むようなまちづくりが必要） ●起業支援の受け皿がない ●民間主導で事業を進めているが、市としてどのような関与が望ましいか明確な解がない		
課題解決の 方向性の イメージ	●L A B V（Local Asset Backed Vehicle）手法を活用したSVIの事業推進 ●市は土地の抛出により出資をするものであるが、民間主導でプロジェクトを進めることとなる ●旧清掃センターの建物（管理棟・倉庫）は老朽化しているため、解体後の敷地（平地約6,000㎡）において新たな土地利用を検討することが望ましい		
備考	糸島サイエンス・ヴィレッジ構想について https://www.sciencevillage.jp/		

【課題に関するお問い合わせ方法】

提案期限の1週間前までに以下の項目を記載し、メールにてお問い合わせください。

■問い合わせ先

糸島市企画秘書課行政改革推進係

電 話：092-332-2061

メール：kikakuhisho@city.itoshima.lg.jp

※受信確認のため、メール後に電話でご一報ください。

■記載項目

①課題名

②団体名、担当者名

③連絡、回答先（電話番号、メールアドレス）

④質問内容